

2016年10月14日

報道関係各位

 中部学院大学  
 中部学院大学短期大学部

## 山口市と「福祉」「健康」など 多様な分野で包括連携協定

中部学院大学（学長 古田 善伯）ならびに中部学院大学短期大学部（学長 片桐 多恵子）は、山口市（林 宏優 市長）と連携協定を結ぶことになりました。

本学では、地元出身の学生を中心に、地域で活躍できる「人財」を育てる教育を進めてきました。地域と連携して人財育成を行い、大学が持つ知見などの資源を活用し、地域に貢献しています。今回の締結では、「福祉」「健康」「スポーツ」「生涯学習」「地域づくり」に関する施策の立案や検討、地域の課題を解決するための協議の場や活性化を図る場への学生の参加、学生のインターンシップや地元企業への就職の支援など、お互いに支援・協力することで合意しました。

記

### 【連携協定締結式】

- 日時 2016（平成28）年10月19日（水）午前10時30分～
- 場所 山口市役所公室（市役所2F 山口市高木1000-1 電話0581-22-2111）
- 日程
  - 出席者紹介
  - 協定書調印
  - 写真撮影
  - 山口市長あいさつ
  - 中部学院大学学長あいさつ
  - 中部学院大学短期大学部学長あいさつ
  - 質疑応答
- 出席者
 

山口市	林 宏優 市長
中部学院大学	古田 善伯 学長
中部学院大学短期大学部	片桐多恵子 学長 ほか

## ■ 背景

わが国や地方自治体を取り巻く社会経済情勢は、急速な少子高齢化の進行や人口減少局面への移行、地方分権の進展、大規模災害への不安など、大きく変化しています。こうした時代の潮流を踏まえ、山口市は、第2次総合計画を策定するとともに、今後の人口ビジョンおよび将来を展望する重要施策をとりまとめた総合戦略「山口市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を昨年10月に策定しました。

一方、本学は来年大学開設20周年、短期大学部開設50周年、2018年には学校法人岐阜済美学院100周年を迎えます。これまで、福祉・教育・医療・経営・幼児教育・社会福祉・スポーツの各領域にわたり、心豊かな人間性を育む教育環境を整え、地域社会と連携しながら地域に貢献する人材の育成に努めてきました。

こうした背景から、山口市と中部学院大学および中部学院大学短期大学部との連携をより強固なものにし、地域課題の解決に向けた活動を行うなど、地域の「人財」育成や地域振興を推進していくために包括連携協定を締結します。

## ■ 目的

本州市と中部学院大学及び中部学院大学短期大学部が、多様な分野で包括的に緊密な協力関係を築き、持続的・発展的に連携を深めることにより、活力のある地域社会の形成及び発展、未来を担う「人財」育成、並びに市民等の教育文化活動等の推進に寄与することを目的とします。

## ■ 具体的な連携活動内容

- ① 新たな政策課題の検討および推進に向けた協議
  - ・福祉関連施策の立案・検討
  - ・心やからだの健康づくりに関する施策の立案・検討
  - ・スポーツ・生涯学習に関する施策の立案・検討
  - ・地域の魅力づくりに関する施策の立案・検討
- ② 地域課題解決を協議する場や活性化を図る場への学生の参加
- ③ 各種委員会等への学識経験者の派遣委員や講演会などへの講師の派遣
- ④ 学生のインターンシップや地元企業への就職支援
- ⑤ 両者の広報、イメージ戦略に関する協働
- ⑥ 両者相互の主催事業への参加・協力

■ 参 考 (本学の概要など)

大学院、大学 4 学部 5 学科、短期大学部 2 学科 1 専攻、通信教育部、留学生別科

- ・ 大学院＝人間福祉学研究科修士課程、博士課程
- ・ 大 学＝人間福祉学部人間福祉学科、同通信教育部  
教育学部子ども教育学科  
看護リハビリテーション学部理学療法学科、同看護学科  
経営学部経営学科 (2017 年度募集停止)  
スポーツ健康科学部 (2017 年度開設)
- ・ 短期大学部＝幼児教育学科、社会福祉学科、専攻科 (福祉専攻)

※1 これまでに本学が連携協定を締結した市町村

関市、各務原市、本巣市、美濃市、郡上市、美濃加茂市、可児市、  
大野郡白川村 (順不同)

以上

(本件に関するお問い合わせ先)

中部学院大学教育研究支援部研究支援課 担当：浅野

TEL:0575-24-2238 (関キャンパス) Mail : [chiiki@chubu-gu.ac.jp](mailto:chiiki@chubu-gu.ac.jp)